財団法人日本サッカー協会

公式記録

第59回国民体育大会 サッカー競技（少年男子） 準々決勝【Y-26】

日 時	2004年9月12日 10:00	試合形式	70分 延長20分(V) PK戦	会場名	埼玉スタジアム2002 第3グラウンド, 埼玉県
天 候	晴	気 温	29℃	湿 度	54%
風	無し	ピッチ状態	芝 全面良芝 / 表面 乾燥	観衆数	250人
マッチコミッショナー	平山 隆造	副 審 1	中熊 光義	第4の審判員	塚田 智宏
主 審	蒲澤 淳一	副 審 2	伊藤 力喜雄	記録担当	谷川 悟

滋賀県 (少年男子)		千葉県 (少年男子)
0	前 半 0 – 1	3
	後 半 0 – 2	

KICK OFF

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 後	シュート 前	シュート 計	得点	選手名	番号	位置	位置	番号	選手名	得点	シュート 計	シュート 前	シュート 後	交代 OUT時間	交代 No.
				0		北川 信弥 (3年)	1	GK	GK	1	中林 洋次 (3年)		0			60分	
				0		小林 弘幸 (3年)	2	DF	DF	2	石川 大徳 (2年)	1	1		1		
	51分			0		伊庭 徹矢 (3年)	3	DF	DF	3	渡邉 広大 (3年) (C)	1	1		1		
				0		畑 尚行 (3年)	4	DF	DF	5	竹田 忠嗣 (3年)		0				
				0		下村 暢一 (3年)	5	DF	DF	6	平木 良樹 (3年)		1		1		
		2		2		馬場 悠企 (3年)	6	MF	MF	7	三門 雄大 (3年)		0				
				0		桑原 透記 (3年)	7	MF	MF	11	中村 勇紀 (3年)		1	1		62分	
	HT			0		北村 拓士 (3年)	8	MF	MF	13	薬袋 克己 (3年)		1	1			
				0		鳥本 綱大 (3年) (C)	9	MF	MF	16	船山 貴之 (2年)		3	2	1		
				0		梅川 毅士 (3年)	10	FW	FW	9	川淵 勇祐 (3年)		4	2	2	58分	
	46分	1	1	2		吉田 匠 (3年)	11	FW	FW	10	池田 圭 (3年)	1	2	2			
						勝井 航冶 (3年)	12	GK	GK	12	川和 太陽 (3年)		0				1
						原田 啓二 (3年)	14	DF	DF	4	山下 訓広 (3年)						
8				0		山本 伸治 (3年)	13	MF	DF	15	篠崎 州保 (2年)						
3				0		竹中 陽祐 (2年)	15	MF	MF	8	佐藤 高志 (3年)		0				11
11				0		川島 良太 (3年)	16	FW	FW	14	ｼﾞｮｽﾞｴ･ｿｳｻﾞ･ｻﾝﾄｽ(2年)		0				9

警告・退場					監督	監督	警告・退場				
32分	警	3	伊庭 徹矢	ラフ	雨森 康	島田 洋	67分	警	10	池田 圭	反ｽﾎﾟｰﾂ

チーム合計	後半	前半	合計	チーム合計	前半	後半
シュート	3	1	4	シュート	14	8	6
GK	6	7	13	GK	6	1	5
CK	1	1	2	CK	8	5	3
直接FK	10	5	15	直接FK	14	3	11
間接FK	3	0	3	間接FK	1	1	0
(ｵﾌｻｲﾄﾞ)	3	0	3	(ｵﾌｻｲﾄﾞ)	1	1	0
PK	0	0	0	PK	0	0	0

得点時間	得点チーム	No.	得点者	スコア	得点経過 記録例：～:ドリブル →:ゴロパス ↑:浮き球パス ×:混戦 S:シュート H:ヘディング								
15分	千葉県	10	池田 圭	0－1	中央-2	10	→	16	→	10	～	中央-1	右足S
49分	千葉県	2	石川 大徳	0－2	中央-2	7	→	16	→	中央-1	2	～	右足S
55分	千葉県	3	渡邉 広大	0－3	右CK	13	↑	中央-1	3	HS			

PK戦の経過	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

[試合時間] 前半35:39(0:39)、後半37:47(2:47)、試合所要時間 1:23:53

[戦評] 記入者： 前田 真吾 所属： 琴丘高校 (兵庫県)

両チーム、４－４－２ダイヤモンドのシステムでスタート。立ち上がり、滋賀が２トップへの効果的なパスを活かして押し気味に展開する。しかし、10分過ぎに千葉FW⑩池田へ有効なパスが通りビッグチャンスが生まれたことをきっかけに、流れが千葉に傾き始める。以降、両サイドの高い技術をベースにしたスピードある突破と、２トップの高い能力で千葉ペースで進む。滋賀のボールチェックが甘くなったところを、⑩池田のミドルシュートが決まり、千葉が先制し前半を終了。後半、滋賀は⑪吉田の右サイドのスペースを突くプレーでチャンスをつくり、持前の攻撃力を生かして反撃を試みるが得点には至らなかった。千葉は⑦三門を中心に、攻守に渡り落ちついたプレーで得点を重ね、ゲームを制した。

2004/9/12 12:05